

大石田を楽しもう！準備号

2009年1月19日

発行 大石田を楽しもう倶楽部

大石田はとても魅力的な田舎です。不便すぎもせず、かといって便利でもなく、最上川を眺めながらそがれる(ボートとする)のは、とても心豊かな時間の過ごし方だと思います。最上川の舟運で栄えた歴史と文化があり、豊かな自然があり、暖かい人たちがいる。そんな大石田に、縁あって(パルシステムの産直産地です。)何度か足を運ぶうちに、ここを拠点として何かできないかということになりました。春は雛まつり、夏は山菜・花火、秋は新そば祭り、一緒に大石田を楽しみませんか。(大石田町は山形市から北へ車で40分ほど。山形新幹線の駅があります。)

ワンダーランド大石田

交流施設に宿泊したメンバーの感想から

夏に宿泊した時、明け方、蝉の大合唱で目が覚めたことがありました。まるで自分の体が中に浮いて、森の中へ移動してしまったような不思議な錯覚を感じました。冬に訪れた時は、周囲の風景が雪の布団を纏って、まるで時間が止まってしまったような不思議な感じを受けたことを鮮明に覚えています。

大石田だより

大石田在住 海藤 平太さんより

プライベート(ロケーション)の帰り道。暗い空から、5cmもある。21時から雪が、31分31分、落ちてきた。お前にも21時から11分、31分31分、31分31分、11分31分落ちてくるもんだから。おまけに見ると(お前)お前の21分。おまけにおまけ。……
ついにさっきまで雨だったのが外へ出た。雪に変わったのでした。あんなあんなと、もう、10cmも積ったしお前でした。
昨日の朝が……考えるだけ21分11分お前です。(除雪が大変)
雪の大石田も11分おまけ。
楽しみにしてまっす。



大石田のひなまつりを楽しもう!!

大石田は、江戸時代に物資輸送の大動脈となった最上川の中心河岸で、舟運により京都などとの交易で大いに繁栄しました。現存する古い雛人形の多くはその頃もたらされました。近年、雛人形研究家により「雛の隠れ里」として紹介され、全国から数多くの「お雛見」のお客様がみえられます。「大石田ひなまつり」は、地元で伝わる「お雛見」が復活されたもので、自宅展示で昔ながらの祭り方でご覧になれます。また、町立歴史民俗資料館では、江戸時代からの貴重な雛人形のほか、大石田ならではの古い雛道具や、郷土人形・ままごと道具一揃いなどが特別公開されます。(大石田町役場HPより)

■大石田のひなまつりは例年4月2、3日におこなわれます。

観覧には各戸観覧共通券(500円)を購入。お抹茶やお菓子も用意され、町の特産品が買えるコーナーもあり、大石田の春を満喫できる催しです。

■このひなまつりにあわせてツアーを企画しました。参加の形は自由。1泊、2泊、前泊も可能。

基本スケジュール

4月3日(金)

8:36 東京発 11:37 大石田着 つばさ115号 片道 12,320円

参加人数が多い場合マイクロバスのチャーターも考えます。

町内でお雛見(2日・3日のみです。3日は午前中に大石田に到着することをおすすめします。)

大石田に宿泊 参加人数・ご要望に合わせて施設を確保します。

民宿 6,500円 あったまりランド虹の館 10,000円ぐらい

<あとは自由にお過ごしください>



お寺・史跡めぐり

最上川下り

温泉三昧(あったまりランド・銀山温泉・足をのばして肘折温泉)

そば三昧(そば街道ではしごする)

なにもしない

4月4日(土)

10:00 大石田を楽しもう倶楽部 設立総会 民宿でくの坊にて

■大石田そば街道 (大石田町役場HPより)

大石田は玄そばの産地としても知られており、生産量は県内でもトップクラス。夏と冬、昼と夜の寒暖の差が大きく、デンプンの蓄積を多くするため、豊かな風味を生むと言われていています。在来種の「来迎寺」や次年子の地そばを使った大石田そばといえば、生粉打ち(そば粉100%)か、1~2割のつなぎを使った、やや平打ちが主。程よいコシもありながら、のどごしはなめらかという田舎そばの逸品です。

申し込みは別紙、大石田を楽しもう会会員募集をご覧ください。会員外でも参加OKです。